

英国保存修復学会 The Institute of Conservation

「専門的規範と判断・倫理 Professional Standards and Judgement & Ethics」  
(2020年改訂)

※ この翻訳は、以下の文献に修正を加え転載した。鳥海秀実、「<sup>コンサーヴァター</sup>保存修復専門家の職業の定義、倫理規程と実務指針」  
『保存科学』62、東京文化財研究所、p.199-214、2023年。<https://www.tobunken.go.jp/cer/pdf/62/6217.pdf>

※ 原文は以下のサイトを参照。

<https://www.icon.org.uk/static/3f4bc220-a584-424a-8fc73ff39e16f1d7/ce352d1e-b330-4887-a670df0d6d1dc260/Icon-Professional-Standards.pdf>

## 【序文】

英国保存修復学会（ICON）の専門的規範は、保存修復専門家が行う専門的実務の指針である。本規範は6つあり、それぞれは個々の「基準（criteria）」において詳述され、これらが「規範（standards）」全体を作り上げている。

1999年当初に策定されたこの「専門的規範と判断・倫理」は、目的に合ったものとするため、2007年、2013年そして2019年に改定された。これらの規範は当学会における多くの活動の基盤となっており、その活動には以下が含まれる。

- ・ ICON 認定資格制度
- ・ 行動規範（Code of Conduct 2014年）
- ・ ICON 苦情対応

この文書は、用語集（Icon Glossary）を参照して読むこと。

<https://www.icon.org.uk/resource/glossary.html>

## 【専門的規範】

### 1: 文化遺産の評価

- 1.1) 評価対象の文化遺産の意義とコンテクストを、潜在的な保存処置に関わるあらゆる可能性をふまえて理解すること
- 1.2) 文化遺産の物理的性質と状態の評価
- 1.3) 文化遺産に対する環境的影響と潜在的変化に関する評価
- 1.4) 更なる処置を行わないことによる結果の評価
- 1.5) 評価の知見に関する報告

## **2: 保存処置の選択肢と方法策定**

2. 1) 保存処置に関する選択肢の特定と評価
2. 2) 利用可能な様々な選択肢に関わる助言、提案もしくは方針の展開
2. 3) 考案した一連の計画の実施に向けた展開、もしくは交渉

## **3: 保存処置**

3. 1) 文化遺産の維持管理、保護、処置において適切な実践方法を伝達すること
3. 2) 保存処置の実施
3. 3) 手段と助言が、認められた保存業務基準に確実に従うこと
3. 4) 保存処置の効果のモニタリングと評価
3. 5) 保存処置の記録作成
3. 6) 自身の権限や職能の範囲外にある内容について、更なる分析、処置や予防的手法に関する適切な情報を提案すること

## **4: 組織とマネージメント**

4. 1) 作業が適切に完了するよう、作業を計画し管理すること
4. 2) あなたの実践および推進する全てのことが、適用される法的、契約的な必要条件に確実に従うこと
4. 3) あなたの実践作業および責任をもつ範囲が関係する衛生安全規則とガイドラインに確実に従い、自身とその他の人々への危険を最小限にすること
4. 4) 依頼者、同僚やその他の関係者とのやり取りにおいて、良好な関係もしくは内部協力を努めること
4. 5) 適切かつアクセス可能な記録が確実に維持されること

## **5: 継続的な専門性の発展**

5. 1) 保存修復分野における変化の情報収集、および作業内容に関する更なる発展に常に努めること
5. 2) 実践、知識、技能と技術が、一般的基準においても、担当する個別の事業と任務の両方においても、確実に最新の情報に基づいていること
5. 3) 自身の実践を考察し学ぶこと
5. 4) 専門家と一般聴衆に向けて、文化遺産の保存と維持管理を推進すること

## **6: 専門的判断と倫理**

6. 1) 原則を理解し、あなたの実践に関わる特定領域について深い理解を示すこと
6. 2) あなたの実践に関する国内および国際的な原則、哲学そしてガイドラインに精通していること

- 6.3) 保存修復の倫理的基盤、および文化遺産の保存専門家としての責任とより広い社会に対する責任を理解すること
- 6.4) 英国保存修復学会 (ICON) の行動規範 (Code of Conduct) を理解し遵守すること
- 6.5) 保存の問題へのアプローチと適切な解決方法の策定において、適切なレベルの批判的思考、分析と総合的思考を適用すること
- 6.6) あなたの実践に関して、代替となる有効な手法とアプローチの考慮について率先して備えること
- 6.7) 衛生安全、環境、雇用と契約に関する法律、および国際的同意を含め、法的必要条件や義務に従うこと
- 6.8) あなたが関与する文化遺産の維持管理について、責任を負うこと
- 6.9) 環境対策、保存の実践における環境の持続可能性の推進、そして反環境的な影響の最小限化に対して責任ある行動をとること
- 6.10) 一般の人々、雇用者、依頼者そして同僚に対して、責任のある倫理的な行動をとること
- 6.11) モノと構造の文化的、歴史的、精神的コンテキストに配慮し敬意をもって行動すること
- 6.12) 保存処置が行われたコンテキストが、適切で許容できる実践と手段に対してどのように影響するか理解すること
- 6.13) 価値の相反や倫理的葛藤について、文化遺産の重要性を維持する方法で対処すること。
- 6.14) あなたの知識と能力の限界を理解し、その限界の中で業務を行うこと

## 【解説】

### 1: 文化遺産の評価

規範1(以下の項目 1.1~1.5)では、文化遺産を評価する能力を示すことが求められる。ここには、今日の複合的な保存の問題がある場合も含まれる。この規範は、あなたの保存業務計画に従って適用されるべきである。たとえば、あなたの業務に、処置もしくは助言のために修復室に持ち込まれた作品に関する調査が含まれる、あるいはコレクションや構造の詳細な評価や、一連のコレクションや文化遺産の特定領域に関する計画策定の評価の提出が求められるということである。

状況に応じて、あなたには複数段階の評価が求められるだろう。たとえば、最初の目視による評価の次に、より詳細な調査や分析もしくは同時並行で実施するモニタリングと検査の実施を行うということである。

あなたは以下のことができなければならない。

1. 1) 評価対象の文化遺産の意義とコンテキストを、潜在的な保存処置に関わるあらゆる可能性をふまえて理解すること

- コンテキストによって、文化遺産がどのように使われ提示されるかに関する考察がここに含まれる。すなわち、文化遺産のデザインと環境的コンテキスト；あらゆる人的、文化的、歴史的、精神的、象徴的、無形的、美的もしくは経済的意義；芸術家の意図；過去の保存処置；現在そして関係する過去の所有者、管理者およびその他関係者の関心などが含まれる。
- 視覚的、物質的、歴史的、アーカイブもしくは証明的などの理由で行われる調査を、引き受ける必要がある。

1. 2) 文化遺産の物理的性質と状態の評価

- 評価に使用する手段は、文化遺産の状態や完全性に有害な影響を与えてはならない。
- 分析があなたの個人的能力の範囲外にある、もしくは専門家の情報を必要とする場合、他の適切な情報源を参照しなければならない。
- あなたが関与している領域に適した、文化遺産の物質的性質および典型的な劣化の種類に対する理解を示さなければならない。

1. 3) 文化遺産に対する環境的影響と潜在的变化に関する評価

- これはあなたの作業計画に適切に適用される必要がある。ここには、たとえば対象物の所有者や管理者に、現在の環境と使用、そして提案される環境と使用について問い合わせること、コレクションもしくは場所の詳細な評価を行うこと、あるいは開発計画、環境変化、その場所や構造物に影響を与えるその他の潜在的变化の影響評価が含まれる。
- 提案された環境と使用の内容における危険性について、適切な評価が含まれるべきである。
- 分析があなたの個人的能力の範囲外にある、もしくは専門家の情報を必要とする場合、他の適切な情報源を参照しなければならない。

1. 4) 更なる処置を行わないことによる結果の評価

- ここには、考察中の文化遺産に対する影響、危険と利益、そして状況によっては、その他の対象物や構造へのあらゆる危険性、環境や周囲、そして衛生と安全性に関する内容が含まれる。

1. 5) 評価の知見に関する報告

- 報告や記録の範囲、表現方法および詳細は、評価の内容と報告の受け手にとって適

切なものでなければならない。

- ・ 報告や記録は、状況に応じてあなた自身の使用、その他の人々への情報提供、もしくは公式発表や出版の用途になりうる。

## 2: 保存処置の選択肢と方法策定

規範 2 (以下の項目 2.1~2.3) は、規範 1 で行われた評価の上に成り立つ。これには、今日の複雑な保存上の問題を呈するコンテキストにおける評価と交渉が求められる。この規範は、あなたの保存業務計画に従って適用されるべきである。たとえば、処置もしくは助言のために修復室に持ち込まれた対象物について依頼者と話し合った決定方針、コレクションや建造物の管理運営の方策、あるいは特別な懸念や保存に関わる課題への対応に適用することができよう。

あなたは以下のことができなければならない。

### 2.1) 保存処置に関する選択肢の特定と評価

- ・ 選択肢には、使用、展示、輸送、保管に関わるマネージメント、もしくは文化遺産を様々に評価する方法が含まれる。それらはすなわち、物理的な保存処置と手段、そして予防的または保護的手段である。
- ・ 選択肢は適切な評価と調査に基づき、明白な理論的根拠に従うものでなければならない。
- ・ あなたは、新しい、または応用した手段を要する選択肢を特定し、これらをどのように発展させ、実行し、委託するかを心得ていなければならない。
- ・ 評価には、危険、利益、そして様々な選択肢に関わるより広範な影響の特定が含まれる。ここには、可逆性や再処置可能性の程度、環境条件下での変化が生じた場合にはこれらに対する耐性、現在と未来の使用による影響、そして次に実施する保存処置の影響が含まれる。

### 2.2) 利用可能な様々な選択肢に関わる助言、提案もしくは方針の展開

- ・ これには、様々な選択肢から予測される解決方法、それらの環境に対する影響、事業の運営や展開に関わる事項、そして関連する資金調達や資金提供の特定に関する考慮が含まれる。
- ・ あなたの保存業務領域に影響するあらゆる法律、公的指導や組織としての方針に関して助言を行うことができなければならない。あなたの助言や決定を伝達し、望ましい保存の実践を促進しなければならない。

### 2.3) 考案した一連の計画の実施に向けた展開、もしくは交渉

- ・ あなたの実践範囲に関して、組織および個人と交渉ができなければならない。
- ・ 保存処置を開始して以降に明らかになったことを考慮に入れた再交渉が、可能でなければならない。
- ・ 同意を得た処置は、事例にとって適切な形式と詳細のレベルにおいて記録されなければならない。

### 3: 保存処置

規範 3（以下の項目 3.1～3.6）では、保存に関する深い知識が必要とされると同時に、助言的、管理的もしくは教育的役割を通じて、あるいは直接的に、処置や保護的手段を行うことにより効果的に保存処置を実施する能力も必要とされる。

項目 3.1～3.6 は、今日における保存上の複雑な問題を呈する状況下で効果的に対処できること、そしていかなる予測不能の問題や発見にも効果的に対応できることを示す。

あなたは以下のことができなければならない。

- 3.1) 文化遺産の維持管理、保護、処置において適切な実践方法を伝達すること
  - ・ 伝達方法は、助言、方針、計画策定、提案や教育などの形がありうる。
  - ・ 維持管理、保護と処置は、災害や緊急事態への備えや事後の対応、もしくは外部からの提案や変化への対応など、進行中の状況や例外的な状況に関係する。
  - ・ あなたの作業領域における文化遺産に関わるあらゆる方針や計画について、保存に関連する事項を豊富な知識をもって伝達することができなければならない。
  - ・ あなたの処置が完了した後の文化遺産について、進行中の保護のために必要とされる事項を助言することができなければならない。
- 3.2) 保存処置の実施
  - ・ 材料の物理的および化学的性質と劣化原因、使用すべき方法と技術、関連する情報、技能と設備の使用に関する助言ができることが含まれる。
  - ・ 処置は、物理的、化学的、環境的、法令的な場合、もしくは文化遺産の管理や他の要素との相互作用影響に関わる場合などがある。
  - ・ 新たに発展中の技術、およびそれに関わる実践的な関連事項について、助言することができなくてはならない。
  - ・ 使用する方法と技術には、関係するコンテキストと倫理的要素、そして当該分野における現行の調査および指導を考慮に入れられなければならない。
  - ・ 文化遺産の保護と維持管理に影響力をもつ他の人々の考え方と役割を理解し、手段の効果を実証的なものとするため、必要に応じて彼らと協力しなければならない。

### 3.3) 手段と助言が、認められた保存業務基準に確実に従うこと

- ・ 国、自治体、組織によるあらゆる適用可能な規範、ガイドラインと原則を考慮に入れつつ、英国保存修復学会の該当する規範や実務指針と合致すること。
- ・ あなた自身が行っているか、委任、委託しているか、もしくはより概括的に管理しているかにかかわらず、処置が倫理的に行われ関連する規範に従っていることを確認しなければならない。

### 3.4) 保存処置の効果のモニタリングと評価

- ・ 実施した処置の有効性と影響を、作業内容にとって適切な方法により評価することが求められる。これは、継続的もしくは定期的なモニタリング、事前の調整、もしくは特別な場合などにより実施することができる。
- ・ 万一、新たな発見により必要が生じた場合には、方法の調整や再交渉が行われる。

### 3.5) 保存処置の記録作成

- ・ 記録は、意図される用途およびその情報そのものの価値にふさわしい形式、そして詳細さと明瞭さの度合いをもって作成されるべきである。
- ・ 記録は、現在進行形で維持されアクセスできることを目的として、形式が考案されなければならない。

### 3.6) 自身の権限や職能の範囲外にある内容について、更なる分析、処置や予防的手法に関する適切な情報を提案すること

- ・ これは補修的処置、科学分析や専門家によるモニタリング、専門家による予防的保存、保全 (preservation)、もしくは法律の専門などに関係しうる。

## 4: 組織とマネージメント

規範 4 (以下の項目 4.1~4.5) は、あらゆる <sup>コンサーヴァター</sup>保存修復専門家に適用可能な、効果的かつ倫理的、法的な方法で作業を組み立てマネージメントすることに関係する。これはあなたの作業の役割に関して適用されるべきであり、責任を負う領域において確実に規範に従わなくてはならない。

あなたは以下のことができなければならない。

### 4.1) 作業が適切に完了するよう、作業を計画し管理すること

- ・ これは自身の作業に適用されると同時に、あなたが主導もしくは委任するあらゆる

作業に適用される。

- これは自身の作業計画、事業の日程調整、部署もしくは新たな事業の作業計画、教育課程の時間割作成と授業計画、もしくはコンサルタントや連絡業務（依頼者や契約者／コンサルタントの見地から）を管理する方法に適用される。
- 時間の尺度、必要とされる資源と適切な予算に関する同意と適合がここに含まれ、関係者に進捗状況を随時連絡し必要に応じて再交渉を行う。

4.2) あなたの実践および推進する全てのことが、適用される法的、契約的な必要条件に確実に従うこと

- 自身の作業に関する法的必要性を認識し、これに関する知識を修得すること。
- ここには関係する環境保護と雇用規則が含まれ、作業が適切な保険と損害保障により確実に補償されるようにする。

4.3) あなたの実践作業および責任をもつ範囲が関係する衛生安全規則とガイドラインに確実に従い、自身とその他の人々への危険を最小限にすること

- リスクアセスメントに基づいて行動し実施する能力がここに含まれる。

4.4) 依頼者、同僚やその他の関係者とのやり取りにおいて、良好な関係もしくは内部協力に努めること

- 作業のための良い関係、効果的で開放的なコミュニケーションを維持し、適切な場合には人材のマネジメントにおいて良い慣習に従うことが含まれる。
- 関係者には、必要に応じて組織内部の依頼者（例：学芸員、アーキビスト、建築家、選出されたメンバーや受託者）や契約者などが含まれる。

4.5) 適切かつアクセス可能な記録が確実に維持されること

- 記録には、保存に関する記録、法令に関する記録、あなたの組織に求められる記録もしくはあなたの事業の運営に必要な記録、そして自身や同僚が効率的に作業するためのあらゆる記録が含まれる。
- 記録は適切な方法と形式で行われるべきであり、状況に応じて適切な技術とソフトウェアが用いられるべきである。
- 記録は、記録にアクセスする必要がある人にとって、利用可能かつ明瞭でなければならない。
- 記録は、あらゆる法的必要条件、保存に関するガイドライン、そして組織の方針を考慮に入れ、目的によって適切な期間の間保持されなければならない。
- データ保護、プライバシーおよび知的財産に関する法律に従い、適切なレベルの安全性と機密性が維持されるべきである。



## 5: 継続的な専門性の発展

規範 5 (以下の項目 5.1~5.4) は、あなたの専門知識と能力を意欲的に維持し発展させることを求める。

あなたは以下のことができなければならない。

5.1) 保存修復分野における変化の情報収集、および作業内容に関する更なる発展に常に努めること

- ・ 専門の熟知度を維持し、必要に応じて保存修復分野の関連する団体、および自身の実践範囲を超えた接点をもつことが含まれる。
- ・ 特に更なる研究があなたの実践と専門性の展開に関係する領域を感知できるよう、新たな発展と研究に絶えず注意を払うことが含まれる。

5.2) 実践、知識、技能と技術が、一般的基準においても、および担当する個別の事業と任務の両方においても、確実に最新の情報に基づいていること

- ・ 最新の情報は、あなたの作業内容にとって適切である必要がある。例えば、処置を行う際、当該の作業にとって適切である場合、新たな技術を理解し使用できることが期待される。あるいは、あなたが管理者や助言者である場合、どのような技術が利用可能で、どのような場合が適切であり、けれども実施できないというようなことを理解することが期待される。あるいは、あなたが教育者や講師である場合は、教育、研修する領域に関して最新の情報を維持することが期待される。

5.3) 自身の実践を考察し学ぶこと

- ・ あなたの作業から、学ぶべきポイントと更なる調査や発展の領域を特定することが含まれる。

5.4) 専門家と一般聴衆に向けて、文化遺産の保存と維持管理を推進すること

- ・ 必要とする人々に対して、研修や指導を提供できることが含まれる。
- ・ 実演や展示、出版物やウェブサイトへの寄稿など、様々な方法により文化遺産分野やその職業に対し寄与することが含まれる。

## 6: 専門的判断と倫理

専門的判断と倫理 (Professional Judgement and Ethics, J&E) (項目 6.1~6.14) は、職業的規範の核を成す。専門的判断と倫理を理解し適用できることが、あなたの作業を通じて明確に示されなければならない。

保存の知識と原則に関する堅固な基礎に基づいた専門的判断と倫理規範の適用について説得力のある証拠を示すことで、あなたの専門性を証明することができる。関係する情報をいつどのように探すかを理解することは、専門的判断の提示にとって重要な側面である。あなたは幅広い状況下で専門的に対処し、実践において倫理的原則を適用できなければならない。ICONの倫理綱領や実務指針の知識を示すだけでは十分ではない。

あなたは以下のことをしなければならない。

- 6.1) 原則を理解し、あなたの実践に関わる特定領域について深い理解を示すこと
- 6.2) あなたの実践に関する国内および国際的な原則、哲学そしてガイドラインに精通していること
- 6.3) 保存修復の倫理的基盤、および文化遺産の保存専門家としての責任とより広い社会に対する責任を理解すること
- 6.4) 英国保存修復学会 (ICON) の行動規範 (Code of Conduct) を理解し遵守すること
- 6.5) 保存の問題へのアプローチと適切な解決方法の策定において、適切なレベルの批判的思考、分析と総合的思考を適用すること
- 6.6) あなたの実践に関して、代替となる有効な手法とアプローチの考慮について率先して備えること
- 6.7) 衛生安全、環境、雇用と契約に関する法律、および国際的同意を含め、法的必要条件や義務に従うこと
- 6.8) あなたが関与する文化遺産の維持管理について、責任を負うこと
- 6.9) 環境対策、保存の実践における環境の持続可能性の推進、そして反環境的な影響の最小限化に対して責任ある行動をとること
- 6.10) 一般の人々、雇用者、依頼者そして同僚に対して、責任のある倫理的な行動をとること
- 6.11) モノと構造の文化的、歴史的、精神的コンテクストに配慮し敬意をもって行動すること
- 6.12) 保存処置が行われたコンテクストが、適切で許容できる実践と手段に対してどのように影響するか理解すること
- 6.13) 価値の相反や倫理的葛藤について、文化遺産の重要性を維持する方法で対処すること。あなたの知識と能力の限界を理解し、その限界の中で業務を行うこと
- 6.14) あなたの知識と能力の限界を理解し、その限界の中で業務を行うこと